

選考委員賞

私たちの使う水と工夫

芝浦小学校 四年 岩田安友里

私達が家庭などで使っている水は水道水です。その水道水は、どうやって家庭などまでに届くのか、知っていますか。

まず、雨水が水源林の土にしみこんで、少しずつ川に流れていきます。そして、川の上流のダムにためられ、川に出る量を調節されながら、川に出ます次に、取水せきです。川の水を取り入れます。最後に、取水とうで川の水を浄水場に送り、きれいにされます。そして、給水所にいき、配水・給水管を通じて、私達のところに送られるのです。また、使った水は、下水道管を通り、水再生センターできれいにされ、海に流れます。そして、海の水がじょうろし、雨なり、また水道水になるのです。

そのように、水が旅をしているようで、すごいと思いました。また、川の水を使っているので、水道局がいろいろな工夫できれいにしていたいてはいませんが、川をよごさないようにしようと、思いました。

ところで、水が少なくなってしまうときの工夫は、どうなっているのでしょうか。

私は、この間、テレビで水不足だというのを見ました。夏に、ダムの水が少なくなったときに、給水せいげんというものがあるそうです。浄水場から家庭に送る水の量をせいげんされます。だから、少ない量で、水を上手に使いたいと思いました。

また、歯みがきは、三十秒だけでも水を流しっぱなしをすると、六リットルも使ってしまうそうです。しかし、コップにくんで使うと、十分の一にへるのです、これからはコップにくんでやりたいです。

他にも、広い両国技館の客せきの下には雨水をためることが出来ます。そのように、水を節約するためにする工夫は、とてもたくさんあるのだと、分かりました。

水は、私たちの健康やくらしにととても大切なものです。けれども、世界には、きたない水を使うことしかできなかつたりする大変な人たちもいます。だから、そのような人たちのことや、自然を考えて、水は大切に使おうと、とても思いました。また、まわりの人たちにも、水は大切ということを知らせて、みんなが大切に使っていきたいです。